（日刊）第39号　七月六日（木曜日）　磐城毎日新聞　昭和二十五年（1950）　定價一部二圓　一ヶ月五十圓

磐城毎日

福島縣平市南町六六（平局内）
發行所
株式會社磐城毎日新聞社
編集兼印刷人　發行人　遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

豫想に當つた市政

市合併後の飯野を衝く

各施設も着々進捗を見る

鈴木市長が抱いている構想の大平市建設の第一歩とも見るべき舊飯野、神谷兩村合併は時の流れである事は勿論であるが、鈴木市長の政治力が大きくものをいつて一部に相當强い反對があつたにも拘はらず遂に實現した、合併當時或る一部には「アレ程の反對を押し切つて合併を强行する事は將來に幾多の禍根を殘し從つて圓滑な市政の運營は期し難いであらう」と筆に口に叫んだ向もあつたようである、合併以來茲に舊飯野は三ケ月餘、舊神谷は一ケ月半餘を經過した現在、市政の運營と人心の動向等を探り舊兩村の實際の空氣に觸れありのまゝの姿を描き出し讀者各位の參考に供する（Y記者）

受益部落　と見られる谷川瀬が反對のものも遠い將來ではなく同地區の發展により地方民の福利は期待すべきものがあろう、下荒川より上荒川に通ずる龍門寺前の道路は舊飯野村時代に自動しや道路に居り此處に住宅が建ち並ぶ根源であつたそうであるから皮肉である、その谷川瀬は周知の如く競輪場の建設地に確定急速な發展を約束されている現實の前には多くを言ふ用もない事である

促進委員　「土地が潰れる」と云ふ理由で合併に反對した同部落の地主層の人々も競輪場建設について市當局や相談に「平市發展のためならば」と心よく相談に應じ協力を惜まない事實は何にを物語るであらうか賢言を愛しないであらう

公約實現に　村民擧げて歌謳　合併の希望條件として舊飯野から三十一ケ條を提出したがこの條件中第一に着手したのは月見町から愛谷江筋に沿ひ北白土部落を經て夏井村に通ずる縣道の補修工事であるが、この縣道は戰時中全く放任されて居り愛谷江筋の通水路には

水が溢れ　て通行不能の狀態だつたが鈴木市長の政治力と馬目縣議の努力により土木監督所の手によつて着工、市土木課と北白土部落民がこれに協力して現在では見違へるような道路となつたので舊飯野の村民のみならず夏井村の住民までもが合併を禮賛している實情である、下荒川の龍門寺附近は理想的の住宅地であるが、合併と同時に

市營住宅　建築敷地に撰定し約一町歩の敷地は地主との折衝も終り農地に關する凡ての手續きも完了して着手を待つて

改修する　が遂に計畫倒れになつた曰くつきの道路であるが、合併と共に市では改修工事を計畫、最近土木課の手により既に測量を終り目下設計中で改修迄の應急處置として部落民が協力して石炭ガラを敷きつめ通行人を

喜ばして　いる、飯野支所前から下荒川に通じる通稱「八ツ坂」（平—江名町間の縣道）は相當の急坂で通行人やしや馬の難所とされているが、この路面切り下げも馬目縣議の斡旋で縣が採擇濟みでありこれが實現すれば豐間、江名の兩町に通ずる主要道路であるだけに地方民の得る處が大きい、その他橋梁の改修等も着々市土木課で

計畫中で　あり、この現實の前には舊村民擧つて合併の利点を謳歌している姿にはほゝ笑ましいものがある

平勞組代表　復興事務所へ　平自由勞組代表野崎峯は四日戰災復興事務所で山口所長と面會△現場監督員をへらし勞務者を增せ△一定の勞務者を使はず毎日交替制にせよ△組合大會の日には朝の一時間を認めよの三項目について交渉、山口所長は、事業の特殊性から要求に直接應ずることは出來ないが二・四半期から復興事業關係に限り五十名（現百名）增加になつてゐるので出來る限り善處すると言明した

火藥運搬手數料値下げ運動　石城郡火藥類消費協會では火藥運搬取扱規則の改正から證明書を受ける場合二百円の手數料を納入する條項に對し郡下の年間火藥消費高は爆藥六十二万瓩、火藥一千瓩、雷管四十一万個の多數で炭鑛各產業の經濟不況に高額な火藥を一時に購入は許されず、その都度購入する關係で二百円の運搬手數料は事業經營上、災害防止と公衆の安全確保の上にも二十円程度に減額され度いと近く陳情することになつた

縣立公園認定地　調査を始む　縣立公園委員會では根本縣計畫課長、同鈴木技師、民報石井編集局長、民友大内編集局長等出張、七日から三日間縣内各所の公園候補地の視察を行ふ事になつた石城地内では四ツ倉新舞子海岸、勿來舊關跡、九面海岸が候補地で海を有する縣内唯一の景勝地として有望視されてゐる

營業難の切り拔けに　金融、稅務の相談を　平市内約二千を數へる中小商工業者があるが最近經營の合理化と言ふことが良く言われてゐる、其の方法としては設備改良に依るものふのが業者の聲だ、平商工會議所では之ら企業難の切り拔け策の一つとして同會議所に各種業者相談所を設けてゐるが毎日五人—十人の相談人がある、伊藤商工會議所常務談　經營の合理化に付ては相當研究されてはゐるが、やはり金から先である事は業者の言ふ通りで、政府當局の金融對策の緩和が切望されるところであるがそれとゝもに要望したからと言つても今すぐとは言へないので此處當分はやはり自力本願とでも云ふか、ある程度自力更生を計らねばなるまい　中心課題に付ては特に金融は銀行團から毎金曜午後、稅務關係は毎水曜日に直稅課長が出張して特別相談に應じて居りますので是非利用して現在の企業難切り拔け策を資してもらいたい

市民の聲

今日の交通は命がけ

對面交通になつてからの交通のびん乱はお話にならぬ大げさなもの言いをする樣だが、うそだと思ふなら一度市内の何處でもよい、自轉車で走つて見給へ、吾々の樣な居士級には到底易々とは乘れぬ命がけであることが知るであらう、一番目に付くのは自轉車の右側交通の多い事だ爲に一般交通の混乱のなすは勿論衝突事故もよく自擊する處である、次に自動車の吾もの顏に而も道路一ぱいに疾走するのも剛腹である、歩行者は概して對面交通を履行して居る樣だが横對歩行は目に付いて交通混乱を招く、又兒童の路上遊戯は依然として影をひそめないのは兒童遊び場の持たない本市としては氣の毒ではあるが、困つた事だ以上氣の付いた点を例に擧げて見ると

(1)特に自動車は對面交通を嚴守して貰び度い
(2)自動車の優先的氣分でなくも少し遠慮的があつて欲しい
(3)自動車の路上駐車は交通障害とならぬ樣心遣ひしてもらいたい
(4)小供の路上遊戯は親達の監視がほしい
(5)二人以上の横隊歩行はやめてほしい
(6)自轉車の元氣にまかせての無茶走りはやめてほしい
(7)交叉点に於ける自動車自轉車は特にお互ひに注意してほしい

本市では街角の隅切が出來て居ないので車馬交通に非常な危險があるこれは逐次都市計畫事業でやらるゝ事と思ふが、事故の多くはこの街角に多い樣だ、夜間の無燈も無論危險ではあるが更に之等の指導取締りを當局に望み對面交通の徹底を計られ度い　立枯居士

出炭及び稼働調べ　平石炭局　平石炭局管内本年度五月迄の月別出炭高及び就勞者數

	出炭高	就勞者數
一月	三八二百	二九五千噸
二月	三六六百	二九〇千
三月	三六四百	二七三千
四月	三四八百	二六六千
五月	三三八百	二五八千
計	一七九、八〇〇	一、三八一、〇〇〇

ジフテリヤ　市内正月町四三輪喜美長女宜江（二）さんは四日夜南町大和田醫師の診斷によりジフテリヤと判明、隔離された、ジフテリヤは今年三月に一人あつたゞけで今度で二度目である

"水は招く"　本格的な夏、濱に、川に、河童も、大人も水への魅惑にさそはれて行く、むつと汗ばむ炎熱に我慢もならないものがある、氣取つた年頃の娘さんもこのあつさには遠慮ない裸婦のスタイルにかわつて、水へ飛び込んでゆく、張り切つた子等は澄んだ水にしぶきを立てゝ强い炎天の下、時のたつのを忘れてゐる、裸人群衆の濱は賑かだ、記者を見付けた濱の子等「オヂさん寫眞うつしてよ」と船べりに集つて姿態よろしく朗かなポーズは出來た、海の子よ、水と陸とどつちが住家か、明日も、次の日も、水の誘惑に、健かな肢態は躍るであらう

甚吉

公職追放、勅令違反として檢察當局の審議を受けてゐた四ツ倉町の木村守江さんも不起訴と決定△本人だけは俯仰天地にはじないと言明してゐた、然し近親者からは心配もされてゐたものだが梅雨時のやうなモヤモヤしたものはなくなつて風清く月圓かな心境△反對に同じ街で道路をはさんで開業してゐる、木村氏告發の發頭人吉田醫師（共產黨）も本家が追放となり細ぼうの活動も潛行的？どうか表面的には社會から顧みられないし患者の影も益々少ないのは氣の毒な程で世の中の正邪の教訓ではあるまいかと云はれウワサは專ら

文藝欄

潮音特別社友　吉田昌廣

六月

桑の實はいまだ幼し湖青く
夏の光りを撥ねつゝぞゐる
×
麥笛をこの夕ぐれに吹く吾
子よ幼きわれの姿たちくる
×
ふるさとの夏の日ぐれに面
影のたちきて涼し白百合の
花
×
ふるさとの松を青々と洗ひ
たる雨は美し六月のひる
×
あじさゐの七色變化紫の淡
く匂へる夕映えの虹
×
色眼鏡サンダル穿きて水色
のスカートゝゝへる街のスタイル

燒貝・節・鰹　名產・辛・塩
丸市屋
平市四丁目
電話213番

型線流しか懷昔
長
荒物・陶器
平市新川町
松崎商店
電話一七二番
（皆樣の松崎商店）（王子石鹼特約店）

第六回
◇勸銀福德預金◇
幸運賞……五十萬圓
特賞……十萬圓
其の他空くじなし
一口・千円・期間六ケ月
無稅
只今賣出中
七月二十二日抽籤
日本勸業銀行平支店

胃腸
平市南町一〇七
松村醫院
內科　胃腸科　呼吸器科　放射線科
松村鐵郎

外科
外科一般　整形外科　性病科　皮膚科　肛門科
松村享

▶全廻轉部二重防水式◀
丸米のスーパー　丸石のブリミヤ　代理店
福島興國ゴム株式會社のタイヤ、チユーブ、ニツサン輕運搬車
自轉車　リヤカー　商會
高級競輪車宣傳のため特に勉强致します
平市才槌小路
矢野自轉車店
電話一六六番

海濱キャンプ村開設

草野に縣觀光連盟で

福島縣觀光連盟主催海と山へのキャンプ村は今月始めの準備が出來てゐるし、今から沼尻高原、猪苗代湖畔年こそ高度な利用を期待されてゐる

檜原湖畔、草野村磐城舞子の四ケ所に開設されてゐる草野村の海濱キャンプ村はキャンプ二十二張百七十名が收容されるもので五月十日まで今月二十日から八月二十日までは學校生徒を優先的に收容することになつてゐる、利用料金小中學生一日一人三十円、高大生及び一般は六十円、一般用貸切り一日一張り三百円で縣廳内觀光連盟キャンプ村係宛希望期日の十日前に届くやう申込めばよい

キャンプ村には携帶品として主食、炊事用具、毛布、灯火用具、調味料を携行すればよい、薪炭、野菜類は地元觀光協會で斡旋するし救急藥品も保健婦も常置されてゐる、教育施設として映畫、幻灯會の開催紙芝居の貸與は何れも無料、鐵道運賃の割引等到れり盡せり發育狀態二十五点の率で採点する

配電排球大會

配電排球大會は來る十五日午前九時から平第二小學校々庭で、參加チームは平營業所一、二、三、四班、木戸川、四ツ倉、平、小名濱四時川、夏井川の十一チーム試合は勝ち殘りで行う

今村炭鑛落盤

五日午前十一時ころ勿來町今村炭鑛採炭夫大平豊助(三七)君は坑内作業中落盤で生命危篤

夏季農業講習會

波立藥師堂に

石城、双葉、相馬地方事務所主催濱通り三郡夏季農業講習會は八月一日から五日間双葉郡久之濱町波立藥師寺で開き農村恐慌對策などの諸問題を研究する、講師は東京農科大學三浦津久教授ほか七名の豫定

郡青年會協議

五日正午より常陽銀行平支店二階に石城郡青年會第一回文化部長會議を開いた、豫算と文化部で今年度の事業計畫で次の事を行ふ事になつた文化祭の開催は十二月か二月に、辯論大會を一月に、指導者講習會並に青年大學講座を一月か三月に

町村會議長會

役員の改選

石城郡下町村會議長會は五日午前十時より地方事務所で開き役員の改選が行れた新會長に大河原好間議長、副會長に青天目勿來議長が選れ役員八名は方部別に推選された

佐藤伊太郎さん徳行

赤十字募金に五千圓

平市特別民生委員佐藤伊太郎(六三)氏は五日赤十字募金と一金五千五百圓也を市社會課に寄せた、同氏は終戰後市民生委員に推されてから今日迄五年老の身をもいとわずに民生事業に勵んでゐるが、氏の徳行は廣く市民の感謝の的になつてゐる、戰事中等は息子がお役に立てないと言つてほとんど毎月給料をさいては寄附をしてゐた、これら善行に關する感謝狀だけでも五十枚を越えてゐると言ふ事も氏の徳行を良く物語つてゐると云いよう、鷹匠町自宅を伺ふとお主人は不在、家内のトシ子(五九)さんがそんな事家へ歸つても全然云いませんので分りませんが若し寄附をしたにしてもどうせ澤山金があるわけではないし話の種にもならない程だと思いますと謙そんしておる（寫眞は人に御知らせする程ではありませんと語るトシ子さん）

第四回健保野球

第四回健康保險軟式野球郡豫選は八日午前八時より市營球場で行ふ、組合せその他について本日午後一時よりいわき民報ホールでキャンプテン會議を開き決定する、參加チームは約十五チームを算えてゐる

種牡牛共進會

十二日から畜組で

石城畜産組合連合會では二十五年度種牡牛管理共進會の種畜檢査を十二日大野村、平市、高久、十三日泉村、勿來町、十四日平窪で受檢されるが、同時に福島縣種牡牛管理育成組合連合會主催の飼養管理共進會を行う度はそのような經驗があるのだと思うと微笑を禁じ得ない

それこそ一日千秋の思い出待ち望んだ修學旅行の前日家には居てもおちおち坐つても居れらない、用もなしに買物籠を下げてふらしている自分ではあるオツに澄まして歩いて淑女も一居ると間もなく發車「元氣で行つて來るんですよ」の語尾も消えやらぬ中にもう皆は喰べ始める、一体どのらみの龍はまるでやぶにら

修學旅行

平一中　三年　結城　千鶴子

綴方教室

いよいよ當日、母に呼び起されてあわてゝ着がえをして驛へ行くと見途り人のあまりの多さにクラスの位置も定め難い、たゞたゞ戸惑つてしまつた、それでもよ うやくの思いで所定の場所に落ちつくと皆洋行でもするような顔をしている、車内に入りやゝ落ちつくとそれぞれの見送りの人が窓から種々の御注意を下さる、二荒山神社、大献院などを見學、極彩色の建物の美しさに先ず目をみはつたが、何よりの細部にまで到る緻密さには感嘆する外なかつた、しかし全体としては箱庭のような感じがしないでもない、眠り猫等は期待したほどでもなかつた、八方にらみの龍はまるでやぶにら

のんきな乙さん
ガンテツ作
どうしたの坊や
アーン
アーン
ソレソレ
みどりの
アーン
アーン
アーン